

# 審判上の確認事項

1. 本大会は、2025 年度公益財団法人日本バレーボール協会 6 人制競技規則を適用する。
2. ベンチスタッフ及び選手は競技規則に精通し、これを遵守すること。
3. 全種別すべて 3 セットマッチの 1 ボール・システムとする。
4. 両チームのチームキャプテンは試合開始前にトスをし、ト스에勝ったチームキャプテンは次の選択をする。
  - (1) サーブを打つか、サービスをレシーブする権利。
  - (2) どちらのコートに入るか。トスに負けた方は残された選択をする。
5. 公式ウォームアップは、両チーム遭わせて 6 分間、またはどちらかのキャプテンが相手チームとは別に(連続して)公式ウォームアップを要求した場合は、各 3 分間行うことができる。
6. 公式ウォームアップ開始前に監督は、記録用紙の選手リストの中からリベロとして登録する選手の番号をリベロ選手欄に記入し、サインする。また、チームキャプテンは試合開始前と試合終了後にサインする。
7. タイムアウトは、次のサービス許可の吹笛までに監督が、監督不在の場合はゲームキャプテンだけが主審または副審にハンドシグナルを示して要求しなければならない。
8. 選手のユニフォームは清潔で、ジャージ・パンツ・ソックス(リベロ・プレーヤーは除く)のデザインと色はチームで統一されなければならない。
9. 選手は負傷の原因となる恐れのあるピン、腕輪、指輪等の金属装身具やプレー上有利になるようなものを身に付けてはならない。但し、眼鏡は自らの責任において着用することができる。
10. ユニフォームを着替えるときには、ゲームキャプテンが主審の許可を得てセット間に行う。但し、同じデザインのユニフォームでなければならない。また、アリーナでの着替えはできない。
11. チームの素晴らしいプレーに対して、ベンチの構成員が立ち上がってその喜びを表すような態度は 罰則の対象とならない。しかし、競技役員、相手チーム、チームメイト、更に観衆等に対する不法な行為は罰則の対象となる。
12. 選手交代の要求とは、中断の間に、プレーする準備のできた交代選手が選手交代ゾーン に入ることをいう。  
負傷による選手交代やセット開始前での選手交代を除いて監督は選手交代のハンドシグナルを示す必要はない。
13. チームが 2 組以上の選手交代を同時にしようとするときは、同一の要求とみなせるように、すべての交代選手が同時に選手交代ゾーンに入らなければならない。この場合、交代は 1 組ずつ連続して行われる。
14. 監督は試合を妨げたり、遅らせたりしなければ、自チームベンチ前のアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。
15. 試合の前は、選手 14 名はがエンドラインに整列し、主審のホイッスルで挨拶する。試合終了後は、コート上の選手 6 名がエンドラインに整列し、主審のホイッスルで挨拶する。なお、監督、チームキャプテンは、主審、副審にも挨拶する。